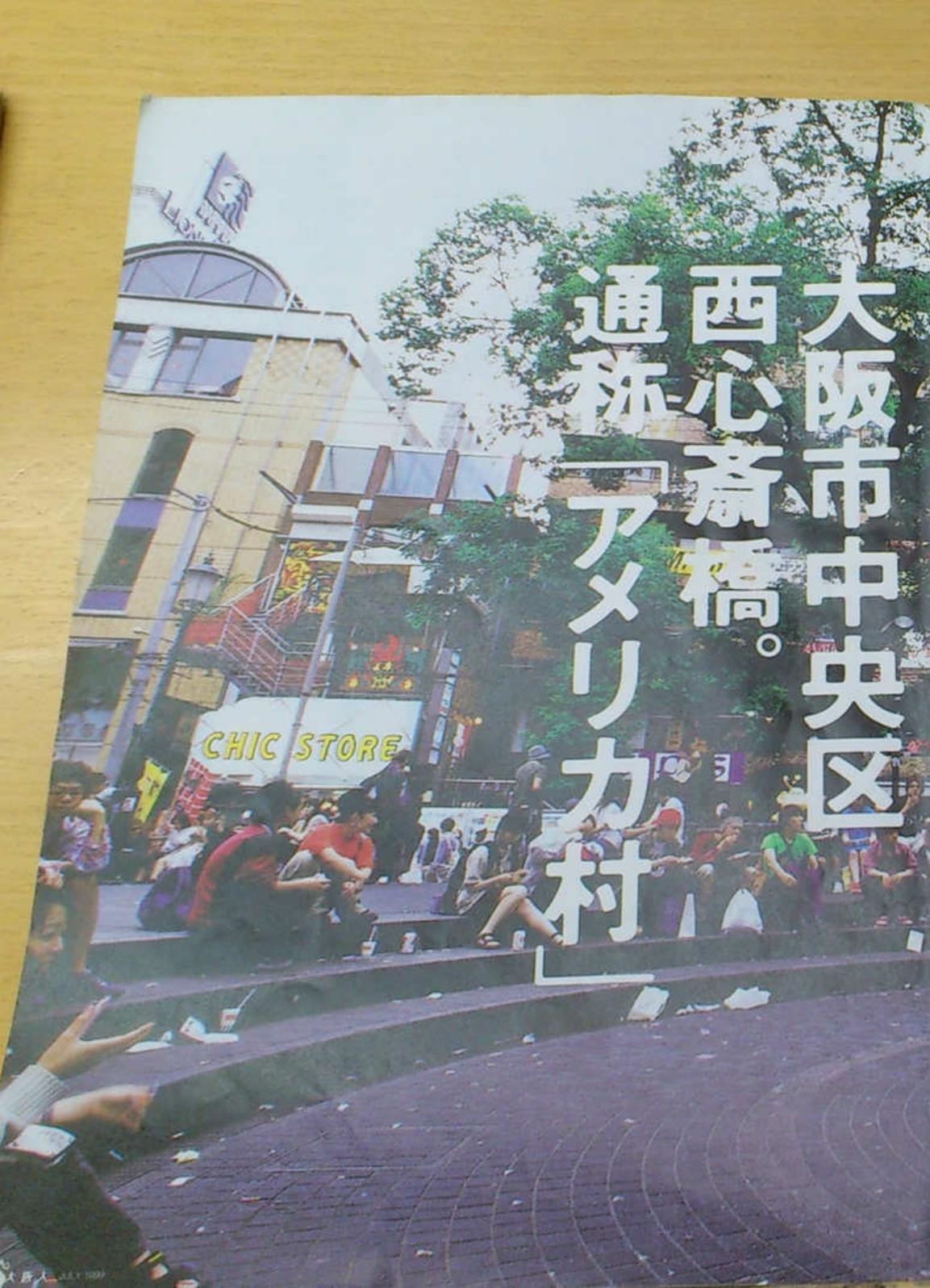




特集 アメリカ村、 30歳。

若者の街と呼ばれたアメリカ村ももうすぐ20代。
アメリカ村を知らぬ大人たちは、アメリカ村を知らぬ大人たちも、
自分たちの言葉でこの街を語る時が来た。
リニアアルした「大阪人」、最初の特集企画は
20代以上の世代のためのアメリカ村散歩。
歩き方も楽しみ方もひと味ちがう大人のセンスを完めたい。



大阪市中央区
西心斎橋。
通称「アメリカ村」



アメリカ村

桑名



特集①アメリカ村、30歳、アメリカ村、再び。

僕らが遊べる街をじゅんじゅん

僕らより早く遊んでしまった。仲間たちからアメリ
カ村を遊んで来た。時代はあれから移り変
わった。九〇年代も移り変わった。今も
移り変わっている。僕らの街の歴史は今も
語り継がれている。

アメリカ村のあたりは僕らが十代の
頃は駐車場や倉庫しかなくて、寂しい
場所だった。みんな元気がつたから、あ
あそこよく喧嘩したもんやけど、あ
れが三十年近く経つやね。
その後、ぼつぼつ店ができてきて、
日限里のパーマースにサーファー仲
間で古着の店とかやってた連中がみ
んな集まりだした。萬里ちゃんもアメ
村つくろおうと行って集まって頑張っ
てた。僕はその頃、セクシャル・パイオ
ネアがヒットして、仕事ば

かりしてアメ村にはなかなか行けな
かった。その五、六年の間にとんどん店
が増えて人が来るようになったのは十
また飲みに行くようになったのは十
年くらい前から。メリケンジャップと
いう店が三角公園の北側にあって、友
達がやってたから気心がしたれた店
で、応援してやろうとよく行った。ネ
ストという店にもよく行った。アメ村
で仕事してる連中が集まってきて、一
緒にわいわいと飲んでた。

昔のアメ村はサーファーが多かった。
アロハ着でウエストタンブーツはいてと
いう、西海岸風の雰囲気がありました
よね。パリの作り方もアメリカっぽか
った。最近のアメ村は昔僕らが着てた
ようなファッションがまた出てきたり
してると、なんともなくパンクっぽか
い。ただ、ニューヨーク風のものは現在
のたり、ニューヨーク風のものも現在

正博

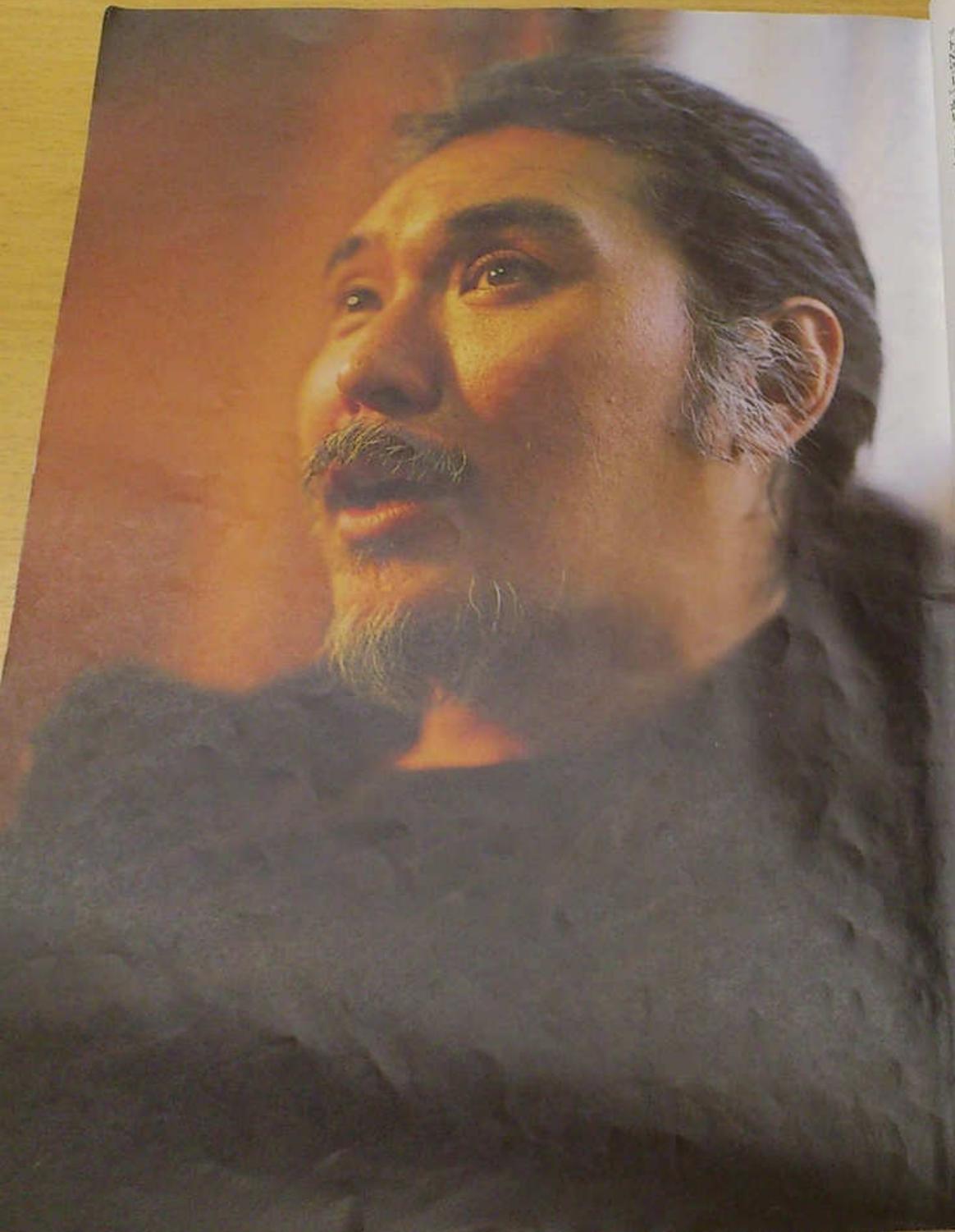
歌手

僕らの時代が、
またまたやって来た。

今からおよそ三十年前、ミナミのはずれの駐車場と倉庫だけの寂しい場所に、
ぼつぼつと若者たちの小さな店が生まれはじめた。
僕らが遊べる街を僕らの手でつくろおう。
アメリカ村とともに年齢を重ねた
アメリカ村とともにロックンロール
世代の思い……ロックンロール
桑名正博の熱いトークは全開だ。



くわ・まきひろ ●1953年大阪生まれ。71年渡米、
サンフランシスコで音楽を学び、帰国後ロックバンド、
アニーカンパニーを結成。76年には「WHO ARE
YOU?」でソロ歌手としてデビュー。「真意トクナイ」
[レコード・バイレイトNo.1]などのヒット曲がある。
79年には日本有線放送大賞受賞。80年は新バンド
THE TRIPLE Xを結成し、初アルバム「WE ARE
THE TRIPLE X」を発表した。





森村

ギャラリーを訪ねて、
街を語る。

「森村」は、現代美術の分野で活躍するアーティストの一人。その作品は、社会の現実を鋭く切り取り、観る者に強い印象を与える。本記事では、森村の作品を通して、現代日本の社会問題を考察する。



泰昌

「森村」の作品は、社会の現実を鋭く切り取り、観る者に強い印象を与える。本記事では、森村の作品を通して、現代日本の社会問題を考察する。

「泰昌」の作品は、社会の現実を鋭く切り取り、観る者に強い印象を与える。本記事では、泰昌の作品を通して、現代日本の社会問題を考察する。

「大人のアメリカ」のテーマは、戦後アメリカの社会と文化の急激な変化。その中でも、特に注目すべきは、黒人市民権運動の勃興と、それに伴った社会意識の変遷である。この運動は、単なる人種差別の撤廃を求めたのではなく、黒人にも白人と同じく政治的・経済的権利を認めさせることを目指した。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。この法律は、黒人に対する差別を法的に禁じた。これは、アメリカの歴史において、人種差別の撤廃に向けた重要な一歩であった。

また、この時期には、黒人音楽の隆盛も特徴的であった。ブルース、ソウル、ロックンロールなどの音楽は、黒人文化を代表するものとして、白人社会にも広く受け入れられた。この音楽は、黒人市民権運動と密接な関係を持っており、黒人の苦しみや希望を表現する手段として、重要な役割を果たした。この音楽は、黒人文化の誇りを示し、白人社会に対して黒人の存在を主張する手段としても機能した。

黒人市民権運動

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。キングは、非暴力抵抗の道を選んだ。彼は、白人社会に対して、黒人の権利を認めさせることを求めた。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。彼の死後、黒人社会は、より激しい抗議行動を始めた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

黒人市民権運動

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

大人のアメリカ、昨日・今日・明日

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

黒人市民権運動

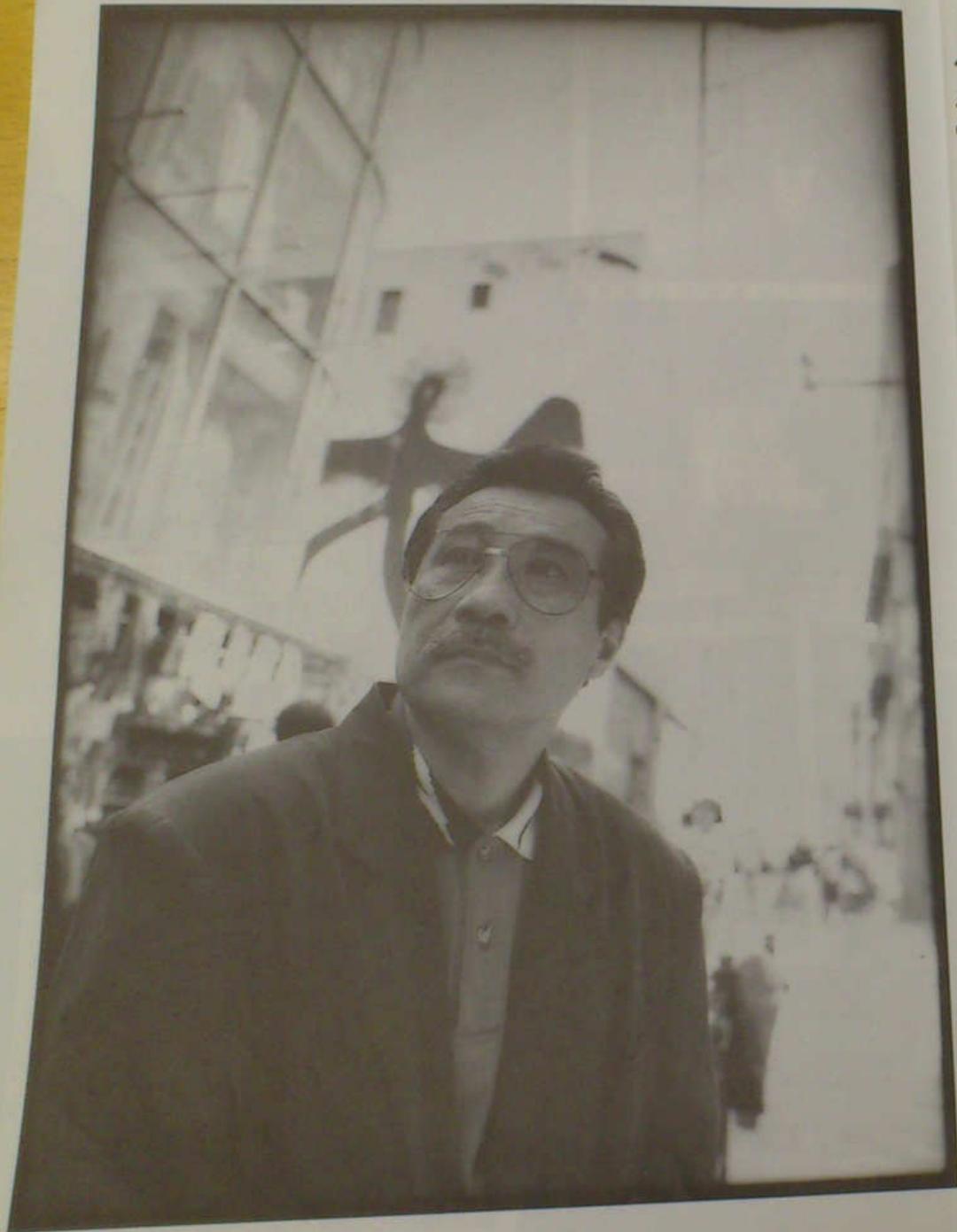
この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

黒人市民権運動

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。

黒人市民権運動

この運動は、黒人市民権運動の中心人物であったマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの指導によって、全国的な規模で展開された。彼の演説は、黒人社会に大きな勇気を与え、白人社会にも大きな影響を与えた。彼の死は、黒人市民権運動をさらに盛り上げた。この運動は、最終的に1964年の公民権法と1965年の投票権法の制定に繋がった。



大阪の若者が アメリカと 出会ったあの日。

アメリカ村の誕生は1971年。アメリカ西海岸で買いつけた古着やレコードを現在のアメ村の敷地内で売り出したのがきっかけだった。60年代後半から70年代にかけてアメリカを席巻したカウンターカルチャーの影響は、今もフリーマーケットというかたちで受け継がれているという。71年当時、大阪の若者に新しい文化への目を見開かせた西海岸ツアーを企画し、アメ村誕生の仕掛け人となった佐々木氏にインタビューした。

佐々木慶久 FM101代表



が70年代前半にフリーマーケットの重要キーマンとして紹介したレコード。

アメリカ西海岸での衝撃

一九七〇年前後のアメリカは、ベトナム戦争の反対運動が起ころ、音楽やファッションではヒッピー文化がムーブメントになって、若者の意識が大きく変わりつつある時期だった。一方、日本では七〇年の日本万国博に六千四百万人が来場、七二年には航空運賃が半額に暴落し、七二年には航空運賃の体系が改正され団体向けの海外パックツアーが売り出されはじめた。海外の有名ミニージャパンたちが来日コンサートを開催するようになったのもこの頃からである。日本の若者たちの目が外に向かって開かれようとしていたまさにその時、「事件」は起きた。

一九七〇年、大阪で開かれた万博は

まさに黒船の到来でした。海外旅行もまだ一般的でなく、外国の文化も実物に触れる機会が少なかった時代だったから、万博に空前の来場者が集まった。そんな時代の空気の中で、大阪の若者たちがアメリカ西海岸で生の音楽やファッションに触れた。その衝撃がアメリカ村をつくったんだと思います。アメリカ村を、私はアメリカ、カリフォルニア学生時代、私はアメリカ、カリフォルニアに旅行して、手作りのアクセサリーや古着を売る若者たちに出会った。大学の講義にも当時すでにエコロジイ問題が取り上げられていたり、衝撃を受けました。この体験がもとで大学卒業後、海外旅行の会社を興して、さらにはアメリカのカリフォルニア大学バークレー校でジャパンフェスティバルを開催し、百六十人の大阪の若者をツアーで連れて行きました。

●1943年大阪生まれ。映画製作者としてプロデューサーを務めた。アメリカ西海岸、ハワイにユースフル・エージェントとして滞在。71年にはアメリカ村誕生のきっかけとなるツアーを企画し、アメ村の仕掛け人と呼ばれる。83年、現在のエフエム101ワンオーワンを設立。フリーマーケット主催、イベント企画を中心に事業を展開している。

西海岸に行く、ジョン・バエズやボブ・ディランが「ドルコンサート」をやっていた。我々の世代からすると考えられないこと。パークレー校の前にはヒッピー文化の発信地だった通りがあって、自分たちが作った品を持ち寄るフリーマーケットの原点になるも

その時驚いたのは、レコードや古着を何千点と買い込む者がいたことです。ひとつ二万円もするボタンを買ったりね、新しい価値観を求めているのが、こちらにもひしひしと伝わってきた。パークレー校では日本の映画やアートなど若者文化を紹介するイベントもやりました。パークレー校のドミトリ（寮）で寝泊りした後、一カ月はみんなで全米を回りました。このツアーは翌年も開催し、また百六十人連れてパークレーに行きました。一カ月間で約二十万円の格安ツアーで、大変な反響でした。

若者文化の先端が大阪に

佐々木氏のツアーに参加したのは、いわゆる団塊の世代の若者たちである。六〇年代の学生運動の担い手だった彼らにとっても、目の当りにした西海岸の若者文化はまさにカルチャーショックだった。

今でこそ海外旅行者は年間千五百万人と誰でも気軽に行くようになりましたが、当時はやっと年間百万人くらい。海外文化に直接触れる機会、実物を見る機会は今よりずっと限られていた。アメリカ一カ月滞在ツアーなんて、大阪にしかなかったんです。いわゆる海外旅行ブームが起きるのはまだ先ですし、その意味でも時代の先を行っていたと思います。

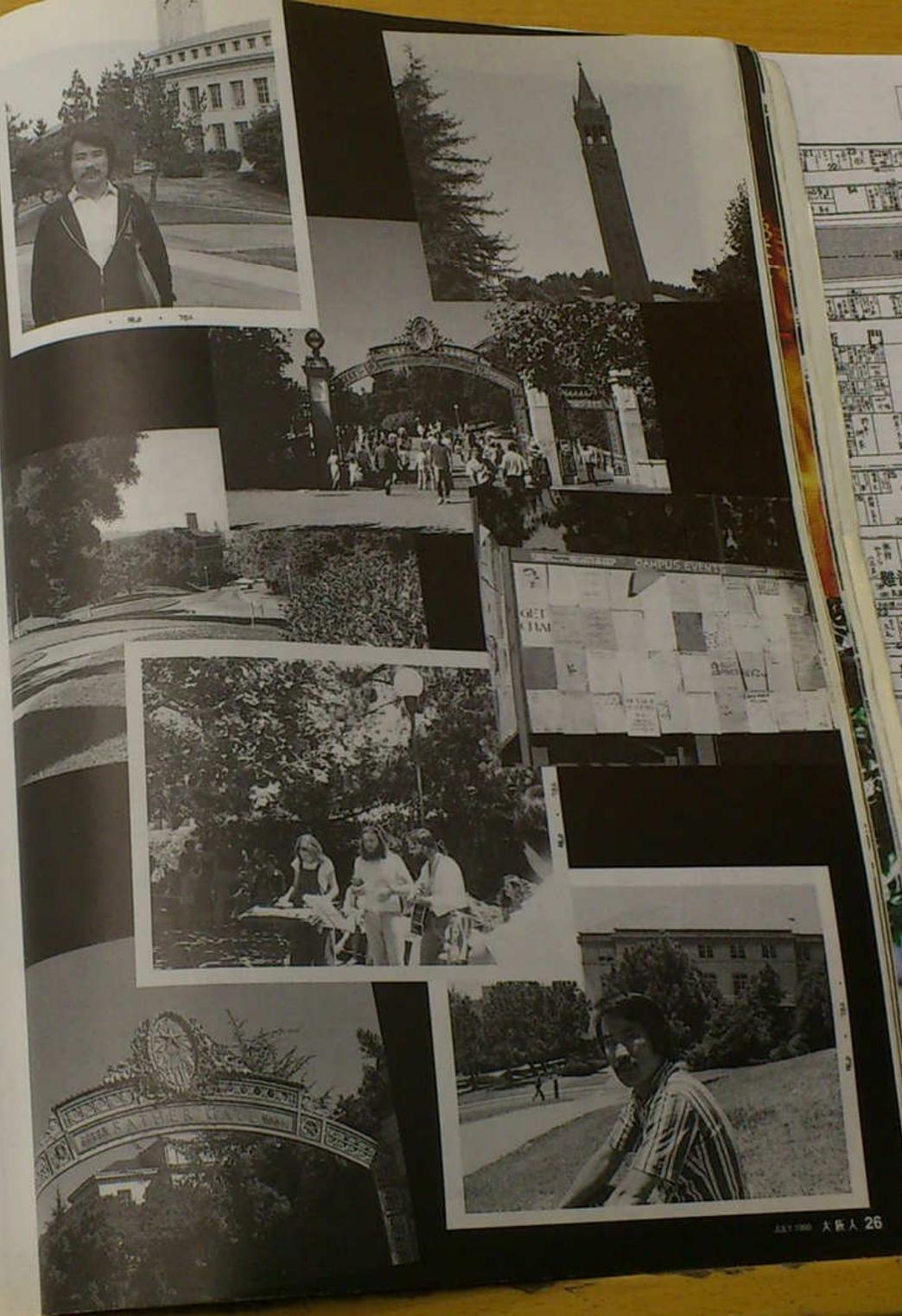
アメ村は第三世代の時代へ

「アメリカ村」という名前の登場は一九七二年のこと。誕生から三十年近くが経ち、「大阪に来て行きたいところのベスト5」にも入り（大阪商工会議所調べ）、海遊館などならんで、

大阪の若者が アメリカと 出会ったあの日。



右ページ/1970年代初めのカリフォルニア大学パークレー校風景。(佐々木氏私蔵)
左/プレイガイドジャーナル社が発行した1974年のツアー案内。





熊野の海

文・青木茂夫 え・松葉健

いま、南紀熊野体験博で、紀伊半島の森に観光の新風が吹き込んでいます。島崎藤村の長編「夜明け前」は、「木曾路はすべて山の中である」にはじまり、明治維新前後における一族の間を描いたが、熊野の作家中上健次は「熊野はすべて山の中である」と言い、昭和の一族の間を書いた。熊野の山河と人間の関が、中上健次の世界に濃密にたち込め、激烈に渦を巻いていた。

生前、まだ元気であったころの中上健次は、中上健次のことがある。ある俳人の卒寿の会で、お互い相当酔いつぶれていて、簡単な雑談を交わしただけであったが、彼はそれとなく二次会の群衆の中に分け入ってロックを踊りはじめた。いかにも土俗的な肉太の体が、激しくゆれ動いていたのをほんやり遠く眺めたのを覚えている。

「兄さん、兄さん……。まるで、熊野の海のみえる小高い山の、うちの墓地におる兄さんをおおさかのこの針中野まで呼ぶみたいにわたしは言う。兄さん、兄さん、ふみこはここにいます。ふみこがここにいます。兄さん、兄さん、ふみこはここにいます。母さんの子供みんな、春に三輪崎の海岸へ弁当たべにいったねえ。」砂浜が熱かった。丸くて白いつやつやしたまるで海の中で熱心な職人が丁寧にみがきあげたような石があった。黒い石もあつた。わたしらはひとつずつ声をあげ

て鏡つてひろいあつた。海は青かつた。海の上がきらきらして、眼がきすついでしましうやつた。兄さんの投げた石がぼんぼんぼんと海のきらきらの上をはねた。それはとびはねたいくらい楽しいという兄さんの感情みたいな気がした。なんであんなに波がなかったんやろ、と不思議なくらい海は静かだった。なんでやろ、熊野の海があんなに静かにおとなしくあつたのは、あとにも先にもあの時だけだったという気がする。水平線の周辺に白い船がうかんでいった。漁師が沖で魚をとってでもいるんやろか、それとも母親がはしやぎまわる子供らをつれて旅をする客船やろか（「補陀落」）

二十四歳で自殺した「その兄さんの歳を六つもよけい生きてしました」妹が、その兄に呼びかけ、語りかけ、遠い昔の姿を描いているが、それにしても、なぶしい春の光、水面をはねる小石、水平線に浮かぶ白い船、「あとにも先にもあの時だけだった」という不思議な海の静けさ。

母と五人の子どものドラマは、このあと暗く激しい嵐に包まれていくのだが、そうであればこそ、この回想の海の風光は刺すように明るい。中上健次の熊野は、そういう人間世界の明暗を見せて涙ぐましいのである。

今やアメリカは全国的にも知られた人気スポットに成長している。

「アメリカ村」という名前が最初に使われたのは一九七二年にブレイガイドジャーナルが「自由市場で開張した」「アメリカ村夏の陣」というイベントからです。その時は、田川律をはじめ様々な前衛芸術家に参加して新しい文化を作っていくんだという熱気が感じられましたね。

アメリカ村をつくった第一世代は七十年代に揺籃期を過ごし、七九年あたりから注目を集めはじめた。第一世代は自分の趣味の延長線上で、商品も自分自身が好きなものを売っていた。アメリカ西海岸文化の影響も残っていて、かなりアグレッシブな感性を発信していたと思います。

八〇年頃からは第二世代の時代です。バブル期の弊害もあってかアメリカにも商業主義的な風潮やコピー文化の問題なども起きました。

九〇年くらいからは第三世代の時代に入り、フリーマーケットなどで成功した人たちがアメリカ村でお店を持つようになっています。今アメリカ村には週末は十万人もの人が出る景況があります。フリーマーケットの盛況があるんです。

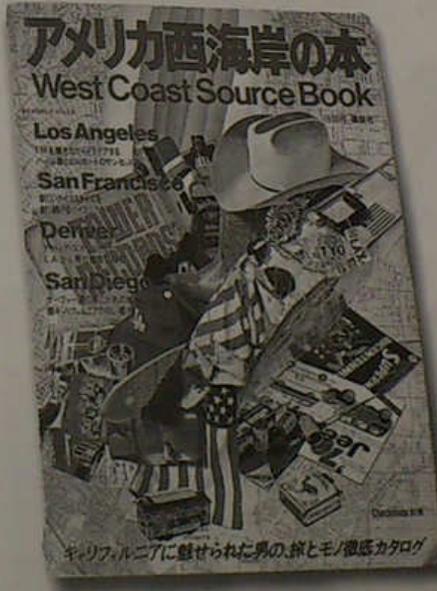
フリーマーケットで最終的に掲げるの、安定したビジネス展開ができる。私は南港などフリーマーケットを定期的に企画していますが、毎回行列ができる人気ですよ。ラジカルな考えを言わせてもらえば、フリーマーケットとアメリカ村は相関関係にあつて、共存共栄しているんです。私の中では七〇年の西海岸フリーマーケットで見たアメリカのエコロジー運動と現在のフリーマーケットはつながっているんです。アメリカでは市場の主流は今アウトレットとフリーマーケットですし、これからの展開も大いに期待できますね。

佐々木氏の事務所はアメリカ村のシンボル、三角公園の前のビルにある。窓の外に若者がいっぱい風景を見下ろしながらのインクビューである。

「現在、アメリカ村の店舗は約八百。最近では売る方もお客さんもちょっと画一的で大人しくなつたでしょうか。ただ第一世代の残したものは今もインプリーディングされて、街のエネルギーマンになっています。今でもアジア系の商品をアレンジしたり、面白いものが出てきていますね。まだまだここには可能性が秘められてると思いますよ」

アメリカ村の住み分けは今でもこの街の個性を押し付けられている。

大阪の若者がアメリカと出会ったあの日。



1970年代の後半にはアメリカ西海岸を紹介した旅行ガイドが、多く発行された。